ミス富士山グランプリに桑原さん（富士宮市外神）輝く

コンテスト公開審査

ミス富士山は後藤さん（富士宮市小泉）

ミス富士山グランプリの桑原さん（右）とミス富士山の後藤さん

富士山お山開き実行委員会主催の第29回「ミス富士山コンテスト」と、とう殿前の特設ステージで開かれた。出場した10人の中からミス富士山グランプリに静岡大学人文社会科学部の桑原楓季さん（18）＝外神、ミス富士山に日本大学国際関係学部の後藤一美さん（20）＝小泉＝が輝いた。

1次選考を通過した出場者が色とりどりの浴衣に身を包み、語学やコミュニケーション能力、スポーツなどの特技をアピールし、審査員の質問に答えた。

グランプリの桑原さんは小学1年生から書道を習い、県立富士宮西高校時代には書道部に所属してパフォーマンスを披露していた。好きな本はミステリー小説。身長168㌢。

大学生になって何にでも挑戦したいとの思いで応募したが、「多くの声援を得てグランプリに選ばれて、とにかくうれしい。日光を受けてキラキラ輝く木の葉や、緑いっぱいの森に囲まれた富士宮市の自然をPRしたい。将来の夢は決まっていないが、活動を通して自分も大きく成長したい」と抱負を述べた。

ミス富士山の後藤さんは小・中学校を通じてソフトテニスに打ち込み、大学ではガールズ・ヒップホップダンスサークルに所属。現在は学年リーダーを務め、多くの人たちの前でパフォーマンスを続けている。身長160㌢。

「ミス富士山に選ばれたのは信じられない。富士宮市や富士山のことを、県内のみならず海外の人たちに知ってもらえるよう、今年開館する仮称・富士山世界遺産センターを中心にPRしていきたい」と意気込みを見せた。

ゲストタイムでは、花柳昌梨花社中が見事な舞で観客を魅了した。

かみ灯り作品を鑑賞する来場者

富士山開山祭

幻想的にかみ灯り　コンテスト28人を表彰

地産の冷茶でもてなし

富士山開山祭が1日、富士山本宮浅間大社で開かれた。境内と神田川畔では数多くの「富士宮あかり絵」が夜の闇に幻想的な光景を描き出したほか、献茶式や第9回「ふじの山かみ灯りコンテスト」の表彰式が行われた。

大社本殿で開かれた献茶式では、煎茶道黄檗弘風流潤水会（中野伝和子代表）の関係者が作法通りのお点前で富士宮産の茶を入れて供えた。

須藤秀忠富士宮市長ら参集者は拝服席で茶を味わい、大社境内では着物姿の女性が、緋毛せんの敷かれた茶席で来場者を冷茶でもてなした。

献茶用に用意された市内5軒の茶は茶箱に入れられ、富士山頂上に運ばれる。

また、紙のふるさと富士宮で伝統を後世に伝え続けるため、個々の感性と創造力で世界に一つだけの「かみ灯り」を制作するコンテストでは、工夫を凝らしたさまざまな作品が境内に展示され、注目を集めた。

コンテスト表彰式では須藤市長と池谷眞徳教育長が中学生・高校生・一般合わせて28人を表彰した。

表彰を受けたのは次の皆さん。

◇中学生の部

▽最優秀賞＝佐野夏羽、望月美希、前林茉奈花、望月麻希、小川珠梨、萩原七海（富士宮一中）「カボチャの馬車」

▽優秀賞＝池野紘太朗（星陵中）「月夜の富士とわく玉池」

▽入選＝佐野天音（同）「妖精さんの宝物」、佐野琴奈（富士宮三中）「和－日本の美」、池野利留・岡本璃夢（同）「四木」、吉成彩（星陵中）「金魚」、風間葉月（富士根南中）「月見れば」、高木莉佳（富士宮三中）「蚊取り線香」、槇田愛美（富士宮二中）「なよ竹の」、山本美緒（星陵中）「灯籠」

◇高校の部

▽最優秀賞＝松本陽佳（星陵高）「はすの花静かな光」

▽優秀賞＝坪井瑛太朗（富岳館高）「富士山とタコ」、佐野九龍（同）「神に捧げる醜い魚」

▽入選＝望月琳々花（星陵高）「水母のきらめき」、木村真由（同）「月灯り」、岩科伽菜子（同）「蓮と星空」

◇一般

▽最優秀賞＝澤由憲「ふじのみや」▽優秀賞＝会沢尚代「きらきら」、望月眞理子「望遠鏡で見た月」▽入選＝竹川成美「あけぼの」、小林島子「花笑み」、米倉由眞「包み」

奨励大賞3組認定証を交付　ら決まる

名物コンペ表彰式

富士宮名物推進委員会主催（小川登志子委員長、富士宮市観光協会事務局）による初の事業「それ、みやげにして宮！名物コンペ」の表彰式が1日、富士山本宮浅間大社祈とう殿前で開かれ、委員らが奨励大賞3組、奨励賞5組に認定証を交付した。商品発表と販売は9月24日の予定。

富士宮市の名物となる新商品や既存商品の発掘、改良、情報発信強化、パッケージ面の工夫を目的に、奨励金として10万円を補助し、完成後の商品PRを応援する。市内企業や店舗、個人が対象で19件の申請があった。奨励大賞はcafe&deli mogu のキーマカレー、藤太郎の「富士のこけもも」、上野製菓㈱の「朝霧みるくようかん」。

奨励賞はもちのきの「稲子川梅ものがたり」、さの萬の焼き豚まん、富士宮高校会議所の「富士の4蔵の酒まんじゅう」、かくた糸とうがらし。応援賞は塩川賢三さん（志ほ川そば店）の「そばピザ・LYB豚ステーキ重」、山宮さくら料理教室の「〝ますびー〟にじます入りパン」、後藤由華さんの「宮の華富士ざくら」、㈱ブランディングオフィスBeの富士宮産菊芋パウダー。

小川委員長は「新しいものばかりでなく、長い間育てたもので富士宮が誇れるすてきな土産作りが実現した」とあいさつした。

さらに土産物開発に積極的活動している富士宮高校会議所（中村真緒会頭）に対し、小川委員長から土産発掘調査隊「すべ宮」のベストと助成金が贈られた。

富士宮高校会議所は、富士山の湧水で酒造りを続けている富士高砂、牧野、富士錦、富士正の4つの伝統的酒蔵で造られた酒粕に、ショウガやごま、柚子、シソの4つの薬膳を活用した酒まんじゅうを地方創生プロジェクトとして3月に発案。藤太郎に開発を依頼し、4月に試食を重ね、完成させた。酒ゼリーも6月に販売開始している。

認定証を交付される入賞者

自動車図書館 ひばり号

▽4日＝淀橋区民館駐車場（10時～10時30分）西保育園（10時45分～11時30分）あすなろ園（9時45分～10時15分）粟倉保育園（10時30分～11時）富士根北小学校（14時30分～16時）

岳南朝日

岳南朝日新聞社
〒418-0033
富士宮市野中東町46-1
代　表（0544）28-0200
ＦＡＸ（0544）28-0218
編　集（0544）28-0234
営　業（0544）28-0220
月977円　1部60円

有限会社マルモ食品工業
富士宮市弓沢町二三五番地
☎（〇五四四）二七・二九五四㈹

購読申し込み先

●富士宮（0544）
鈴木新聞店 ☎(26)3285
中野新聞舗 ☎(23)3333
勝亦新聞店 ☎(26)1100
SHC南部営業所 ☎(26)2543
中西新聞店 ☎(28)1133
●吉原（0545）
植草新聞店 ☎(52)0370
鈴木新聞店 ☎(52)5503
星野新聞堂 ☎(52)0376
●富士（0545）
雨森新聞舗 ☎(61)5049
田畑新聞店 ☎(61)0011
星野新聞堂 ☎(61)0275
●鷹岡（0545）
安倍新聞店 ☎(71)3327
SHC鷹岡営業所 ☎(71)8156
望月新聞店 ☎(71)2647
●富士川（0545）
石井新聞店 ☎(81)1333
佐野新聞店 ☎(85)2093

50代・60代の就労を支援します！
シニアキャリアサポートセンター
㈱高年社60
就労実績多数！あなたの経験を活かせます！
まずはお気軽にお問合せください ☎0545-55-5011
シニアキャリアサポートセンター㈱高年社60
静岡県富士市中央町3-2-2シゲノブビルⅡ 1F
営業時間 9:00～18:00　定休日 土・日・祝
シニアキャリアサポートセンター　検索
富士市、青葉通り沿い。ラホール富士すぐ横です。